

2012年（平成24年）の日本の天候（速報）

本資料は、全国154地点の気象台などにおける12月20日までの観測データをもとに、速報としてまとめたものです。12月31日までの観測データによる資料は平成25年1月4日に発表します。

2012年（平成24年）の日本の天候の特徴：

○ 全国的に年平均気温は平年並で、多雨傾向

北日本から西日本にかけては、寒候期が低温傾向、暖候期が高温傾向と季節のメリハリがはっきりとした年となり、年平均気温は平年並だった。年降水量は全国的に平年を上回った所が多かった。特に沖縄・奄美では、年降水量がかなり多く、年間日照時間がかなり少なかった。

○ 北日本、東日本、西日本は寒冬

冬型の気圧配置が続いたため、平成23年12月から平成24年2月にかけて3か月連続して月平均気温が低く、冬の平均気温も低かった。日本海側では「平成18年豪雪」に次ぐ積雪となった。

○ 北日本、東日本、西日本は暑夏、西日本と沖縄・奄美は雨の多い夏

梅雨明け以降太平洋高気圧に覆われることが多く、夏の平均気温は沖縄・奄美を除き高かった。梅雨前線や台風等の影響により、夏の降水量は西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり多く、西日本日本海側も含めてたびたび大雨となった。7月11日から14日には「平成24年7月九州北部豪雨」が発生した。

○ 9月の北日本は記録的高温

勢力の強い太平洋高気圧が日本の東海上から張り出したため、北日本では平年の盛夏期を上回るような高温が続いた。このため、北日本の9月の平均気温はかなり高くなり、統計を開始した1946年以降最も高い値を大幅に更新した（平年差+3.7℃、これまでの記録は1961年の+1.8℃）。

1 概況

北日本から西日本にかけては、春の前半まで低温傾向、春の後半から秋の前半まで高温傾向、秋の後半から初冬まで低温傾向と季節のメリハリがはっきりとした気温変化となり、沖縄・奄美では、年の前半が高温傾向、年の後半が低温傾向となった。このため、年平均気温は全国的に平年並だった。西日本や沖縄・奄美では夏に降水量が多く、北日本や東日本では春や秋に降水量が多かったことから、年降水量は全国的に平年を上回った所が多かった。沖縄・奄美では一時期を除いて平年より晴れの日が少なく、年間日照時間はかなり少なかった。

冬型の気圧配置が強く寒気の影響を受けやすかったため、北日本から西日本にかけて冬の月平均気温は3か月連続して低く、寒冬となった。日本海側ではたびたび大雪となり、ここ10年間では2005/06年冬の「平成18年豪雪」に次ぐ積雪となり、全国のアメダスを含む17地点では、年最深積雪の多い方からの1位を更新した。また、沖縄・奄美では寒気や気圧の谷の影響により曇りの日が多く、冬の日照時間は1946年以降で最も少なかった。

春になると、北日本から西日本にかけては概ね天気は数日の周期で変わったが、たびたび偏西風の蛇行が大きくなり上空に寒気が流れ込んだ。3月後半は冬型の気圧配置になる日が多く北日本を中心に気温が平年を下回った。4月上旬には急速に発達しながら日本海を進んだ低気圧の影響により各地で大荒れの天気となって広い範囲で記録的な暴風が観測されたほか、5月上旬には動きの遅い低気圧の影響で北・東日本太平洋側で記録的な大雨となった。また、東日本を中心にたびたび大気の状態が不安定となり、5月6日には関東地方などで竜巻が発生し、大きな被害をもたらした。沖縄・奄美では、5月中旬になると暖かく湿った気流や前線の影響により曇りや雨の日が多くなり、梅雨入りとなった。

6月後半から7月前半にかけて梅雨前線が西日本付近に停滞したことや台風および太平洋高気圧の縁を回って南から暖かく湿った空気が流入した影響で、西日本と沖縄・奄美では多雨・寡照の夏となった。台風の接近数が多かった沖縄・奄美では、夏の降水量が1946年以降最も多い値を更新した。梅雨前線の活動は活発で、7月11日から14日にかけて九州北部地方で記録的な大雨となり甚大な災害が発生した（「平成24年7月九州北部豪雨」）ほか、西日本ではたびたび大雨に見舞われた。7月後半以降は、太平洋高気圧が日本の東海上で強く本州付近に張り出したため、北日本から西日本にかけては晴れて暑い日が多くなり、夏の気温は高くなった。一方、6月から7月にかけてはオホーツク海高気圧がしばしば現れたため、北・東日本太平洋側では、冷たく湿った東よりの気流の影響により、一時的に気温が平年を大幅に下回った日もあった。

9月は、日本の東海上から勢力の強い太平洋高気圧が北・東日本に張り出したため、北・東日本を中心に気温の高い状態が続いた。北日本では9月の月平均気温が1946年以降のこれまでの記録を大幅に上回る記録的な高温となった（平年差+3.7℃、これまでの記録は1961年の+1.8℃）。また、北・東日本の一部では7月下旬からの少雨の状態が続いた。10月後半以降、北日本と東日本日本海側では低気圧の影響を受けやすく、曇りや雨または雪の日が多く、東日本以西では10日程度の周期で寒気が流れ込んで気温の低い時期が現れた。沖縄・奄美では秋を通じて気温が低い状態が続いた。

2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

(12月20日までのデータによる)

(1) 平均気温

年平均気温は、全国的に平年並だった。

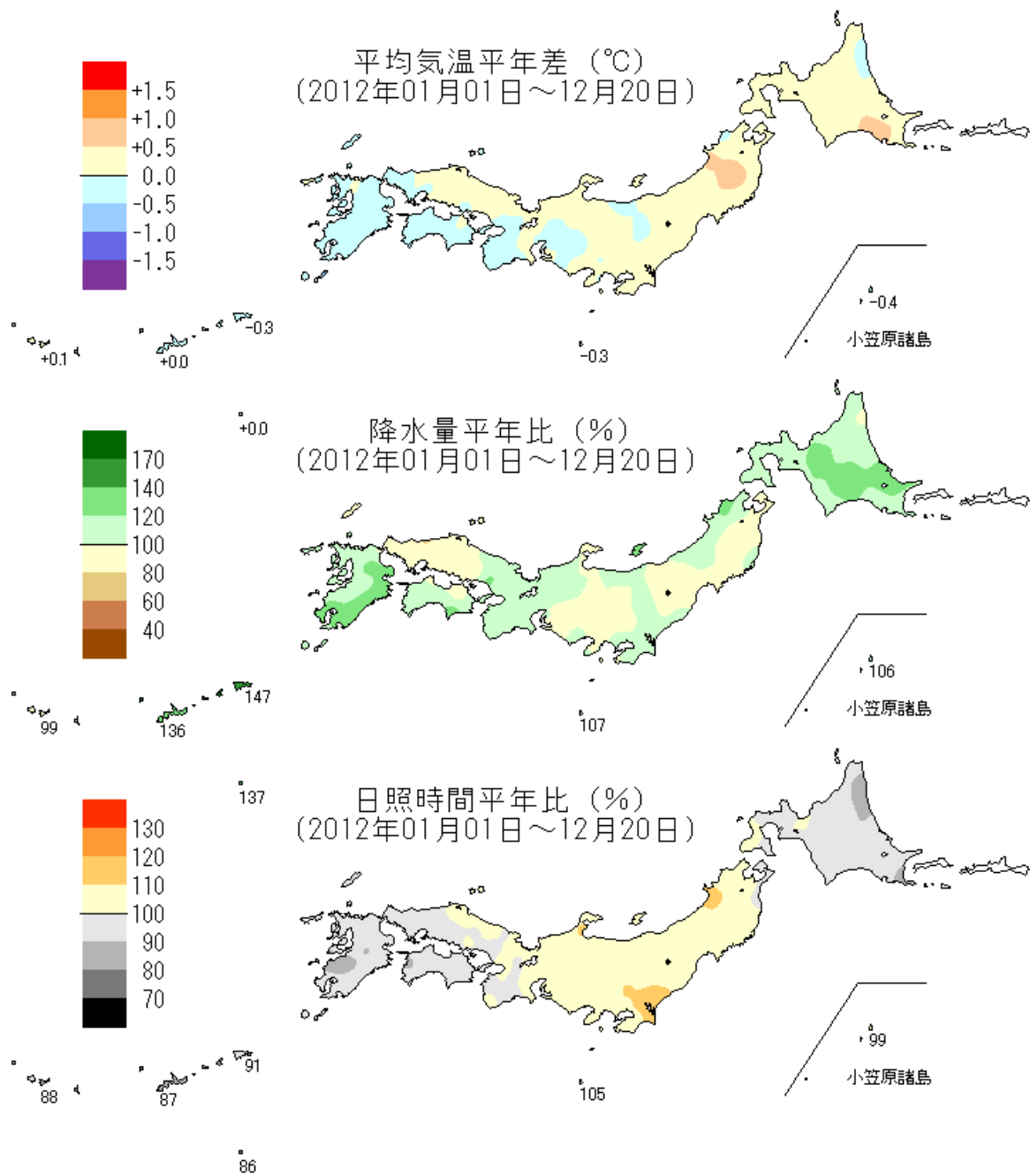
(2) 降水量

年降水量は、沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側、西日本太平洋側で多かった。北日本太平洋側、東日本、西日本日本海側では平年並だった。

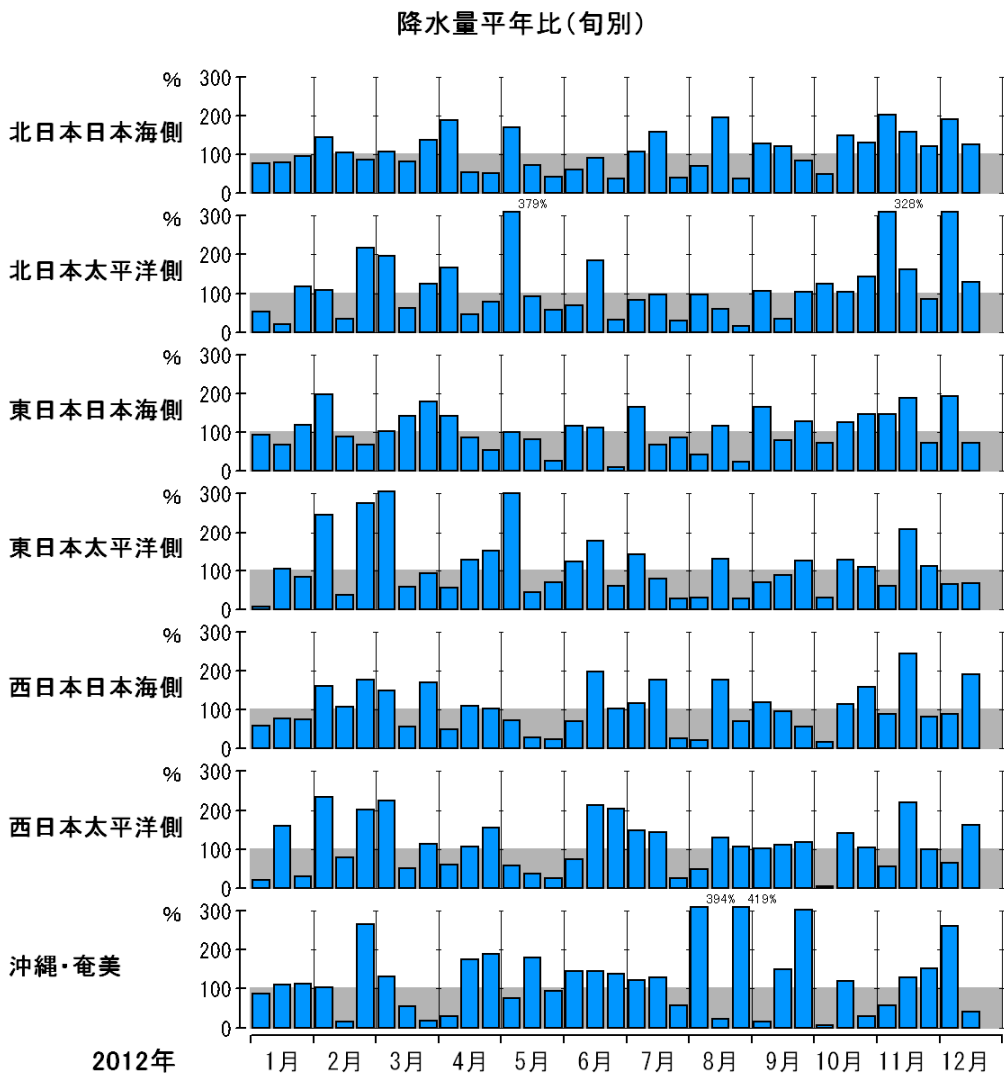
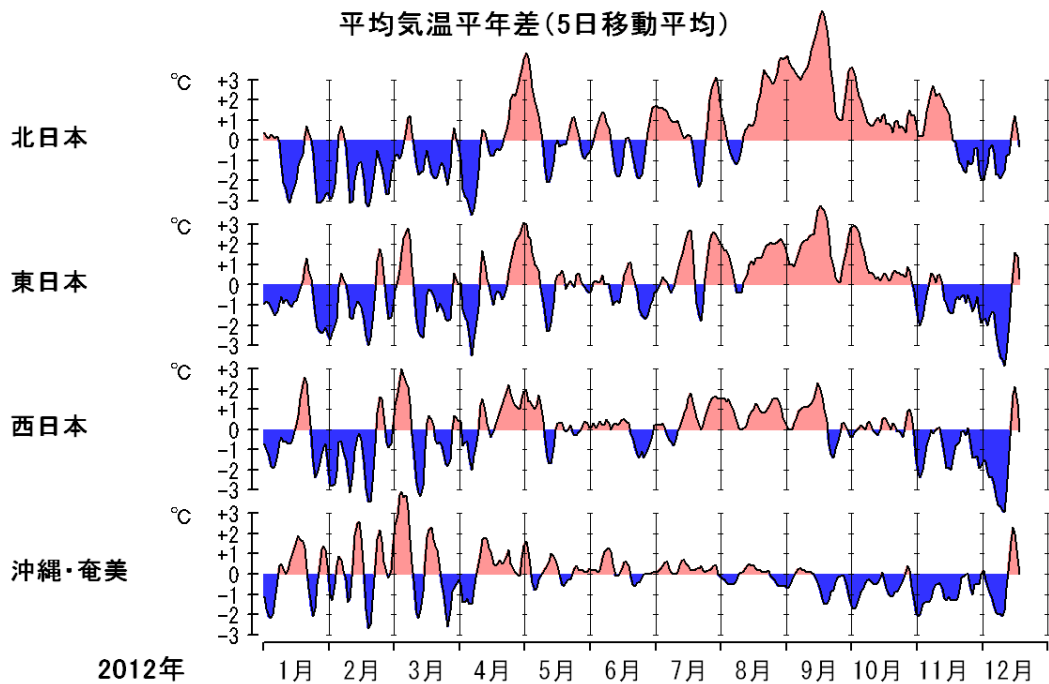
(3) 日照時間

年間日照時間は、沖縄・奄美でかなり少なく、北日本太平洋側、西日本で少なかった。名護（沖縄県）では、12月20日までの年間日照時間の平年比が最小値を下回っている。一方、東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側、東日本太平洋側で多かった。

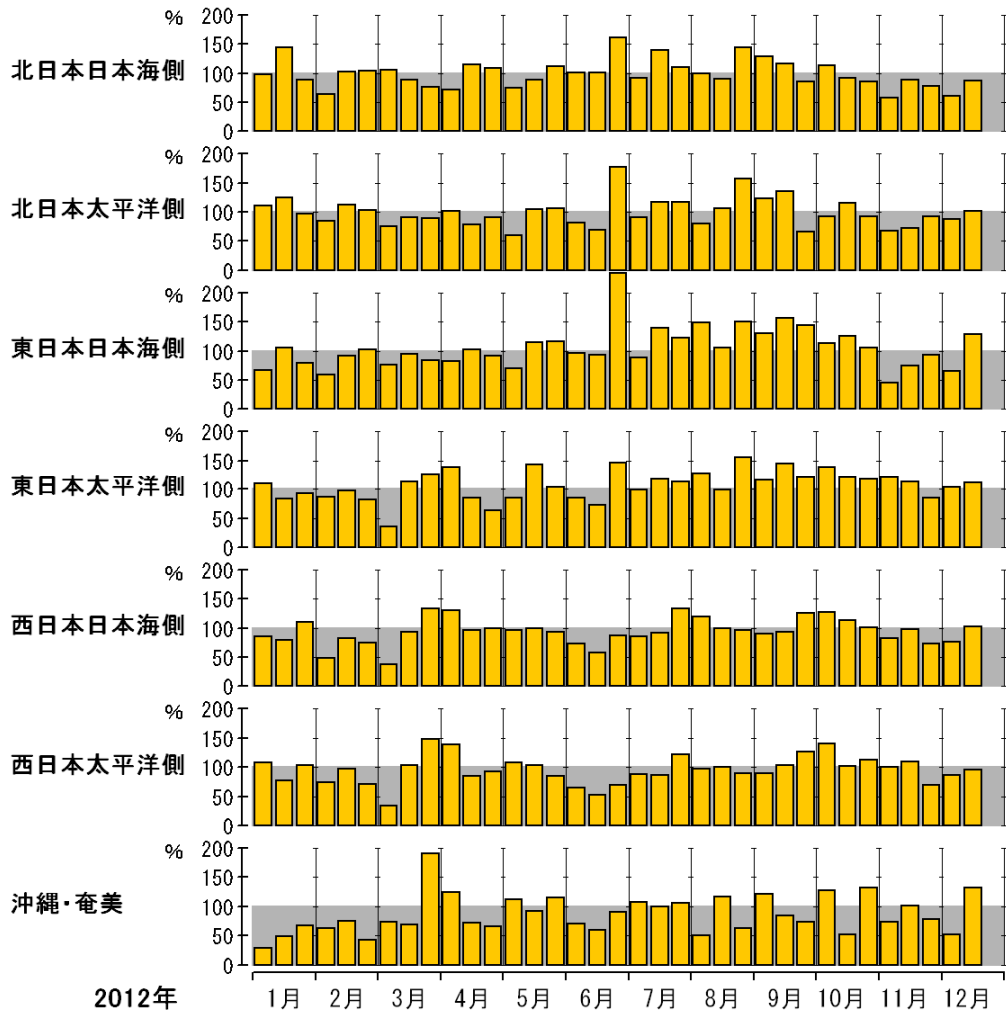
平年差（比）図（2012年）（12月20日までのデータによる）



地域平均年差（比）の経過（2012年）（12月20日までのデータによる）



日照時間平年比(旬別)



観測史上1位の値（月、3か月、年別値）の更新地点数

- ・全国154地点の気象台などの統計値の中で、観測史上1位となった地点数を記載した。
- ・値は1位を更新した地点数でタイ記録は含めない、タイ記録がある場合には「値タイ」として横に併記した
- ・地域は更新およびタイ記録の地点数の合計が5以上のとき記載した

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	最高	最低	最大	最小	最大	最小	最大	最大
1月	0	0	1	1	1	3	0	1
2月	0	0	0	0	0	1	1タイ	2、1タイ
冬	0	0	1	0	2	7 沖縄・奄美	1	
3月	0	0	5 北～西日本	0	0	2、1タイ	0	0
4月	0	0	0	0	0	0	8 北日本	0
5月	0	0	3	5 西日本	0	0		
春	0	0	3	0	0	0		
6月	0	0	4	1	0	4		
7月	0	0	1	0	0	0		
8月	0	0	3	1	5 北・東日本	1		
夏	0	0	2	0	0	0		
9月	51、2タイ 北～西日本	0	0	0	4	0		
10月	3、1タイ	0	0	0	0	0		
11月	0	0	3、1タイ	0	0	2	0	0
秋	31、1タイ 北・東日本	0	2、1タイ	0	6 東日本	2		
年(速報) (2012年)	0	0	0	0	0	1		

3 季節別の天候経過

冬（2011年12月～2012年2月）：

○北日本から西日本にかけて、12月、1月、2月と3か月連続低温で、冬の平均気温が低かった

○日本海側では「平成18年豪雪」に次ぐ積雪

○沖縄・奄美での冬の日照時間は1946年以降最も少なかった

西高東低の冬型の気圧配置が強く寒気の影響を受けやすかったため、北日本から西日本にかけて気温が平年を下回る日が多く、冬の平均気温は低かった。これらの地域では12月、1月、2月それぞれの月平均気温もすべて低く、冬に3か月間連続で月平均気温が低かったのは、北日本では2001年冬以来11年ぶり、東・西日本では1986年冬以来26年ぶりとなった。

北日本から西日本にかけての日本海側では、平年に比べ曇りや雪の日が多く、特に12月下旬と、1月下旬から2月にかけては、強い寒気の影響によりたびたび大雪となった。冬の降雪量は多くの地点で平年を上回った。低温の状態が続き積雪が減少する時期が少なかったことから、冬の最深積雪の平年比は多くの地点で降雪量の平年比に比べて大きくなり、全国のアメダスを含む17地点（気象官署、アメダス合わせて330地点中の数）では年最深積雪の大きい方からの1位を更新するなど、ここ10年間では「平成18年豪雪」に次ぐ積雪となった。また、日本海側の冬の日照時間は、東・西日本ではかなり少なく、北日本で少なかった。北日本から西日本にかけての太平洋側では、冬型の気圧配置により晴れた日が多かったものの、本州の南岸を通る低気圧の影響を受け雲が広がりやすい時期があったため、東・西日本太平洋側では冬の日照時間は少なかった。沖縄・奄美では、寒気や気圧の谷の影響により、平年に比べ曇りの日が多く、冬の日照時間はかなり少なかった。沖縄・奄美の冬の日照日間は1946年以降で最も少なかった。

平均気温は、北日本、東日本、西日本で低く、沖縄・奄美では平年並だった。降水量は、東・西日本日本海側で多く、北日本と東・西日本太平洋側および沖縄・奄美では平年並だった。日照時間は、東・西日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なく、北日本日本海側、東・西日本太平洋側で少なかった。北日本太平洋側では多かった。

春（3～5月）：

○北日本太平洋側で日照時間がかなり少なかった

○急速に発達した低気圧（4月）と竜巻（5月）により大きな被害

春の前半は、北日本から西日本にかけて天気は数日の周期で変わったが、3月中旬以降たびたび冬型の気圧配置になるなど北日本を中心に寒気の影響を受け、気温が平年を下回る日が多かった。また、急速に発達しながら日本海を進んだ低気圧の影響により、4月3日から5日にかけて北日本から西日本の各地で大荒れの天気となり、広い範囲で記録的な暴風となった。沖縄・奄美では、3月中旬まで前線や寒気の影響により曇りや雨の日が多かったが、3月下旬から4月上旬にかけては、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

春の後半は、北日本から西日本にかけて天気は概ね周期的に変化したが、北日本太平洋側を中心に低気圧や日本の東海上の優勢な高気圧からの湿った東風の影響により曇りや雨の日が多く、特に5月2日から4日にかけては動きの遅い低気圧の影響により、北・東日本太平洋側で記録的な大雨となった。一方、西日本では、5月は低気圧や南西からの湿った気流の影響を受けにくく少雨となった。また、東日本を中心にたびたび上空に寒気が入って大気の状態が不安定になり、5月6日には関東地方などで竜巻が発生し、大きな被害をもたらした。沖縄・奄美

では、5月上旬と下旬に高気圧に覆われて晴れの日が続いた時期もあったが、暖かく湿った気流や前線の影響により4月中旬以降曇りや雨の日が多かった。

平均気温は、北日本、東日本、西日本で平年並、沖縄・奄美で高かった。降水量は、北・東日本太平洋側で多く、北・東日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。一方、西日本では少なかった。日照時間は、北日本太平洋側でかなり少なく、北・東日本日本海側で少なかった。東日本太平洋側と西日本および沖縄・奄美では平年並だった。

夏(6~8月):

○北日本から西日本では暑夏となり、猛暑日となった所もあった

○西日本は多雨となり、たびたび大雨が発生した

○沖縄・奄美では、降水量がかなり多く、日照時間がかなり少なかった

太平洋高気圧が日本の東海上で強く、本州付近に張り出したため、夏の気温は北日本から西日本で高く、7月中旬後半、7月下旬中頃から8月上旬中頃、及び8月後半を中心として猛暑日になった所があった。一方、6月から7月にかけてはオホーツク海高気圧がしばしば現れたため、北・東日本太平洋側では、冷たく湿った東よりの気流の影響により、気温が平年を大幅に下回った日もあった。

夏の降水量、日照時間については、6月19日に和歌山県南部に上陸した台風第4号をはじめ、台風、梅雨前線、及び太平洋高気圧の縁を回って南から暖かく湿った空気が流入した影響で、西日本から沖縄・奄美にかけては降水量が多く日照時間が少なかった。沖縄・奄美では台風の接近数が多く、夏の降水量は1946年以降最も多い値を更新した。また、梅雨末期の7月11日から14日にかけて、非常に湿った空気が流れ込んだため九州北部地方で記録的な大雨となり甚大な災害が発生した(「平成24年7月九州北部豪雨」)ほか、8月13日から14日にかけて近畿中部を中心に局地的に猛烈な雨が降るなど、アメダス地点における1時間50ミリ以上の短時間強雨の発生回数は1976年以降最も多かった。一方、高気圧に覆われたため東日本日本海側では日照時間がかなり多く、7月下旬頃から東北、北陸、関東甲信の各地方では少雨となった。

平均気温は、北日本、東日本、西日本で高く、沖縄・奄美では平年並だった。降水量は、西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり多く、西日本日本海側で多かった。一方、北日本太平洋側でかなり少なく、東日本で少なかった。北日本日本海側は平年並だった。日照時間は、東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側と東日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美でかなり少なく、西日本太平洋側で少なかった。北日本太平洋側と西日本日本海側では平年並だった。

秋(9~11月):

○北日本では、秋の平均気温の最も高い値を更新

○9月と10月は北・東日本を中心に高温、11月は東日本以西で低温

○東日本太平洋側では、秋の日照時間の最も多い値を更新

○北日本日本海側では、秋の降水量がかなり多かった

9月と10月の月平均気温がかなり高かった北日本では、秋の平均気温は平年差が+1.7℃となり、1946年の統計開始以降最も高い値を更新した。また、札幌(北海道)、秋田、仙台(宮城県)など、北日本を中心に31地点で秋の平均気温の高い方からの一位を更新した。なお、11月は東日本以西で気温が低く、沖縄・奄美では秋を通じて気温が低かった。

9月は、北日本の東海上で太平洋高気圧の勢力が強く、北・東日本に張り出したため、北・東日本を中心に晴れて気温の高い状態が続いた。北日本では9月の月平均気温が統計を開始し

た1946年以降で最も高くなり、記録的な高温となった。また、北・東日本の一部では7月下旬からの少雨の状態が続いた。一方、西日本と沖縄・奄美では、晴れの日が多かったが、台風の影響や南からの湿った気流の影響を受ける日があった。10月に入っても、北日本では暖かい空気に覆われやすく気温の高い状態が続いた。東・西日本と沖縄・奄美では中旬には台風の影響を受けた日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多く、東・西日本太平洋側では10月の月間日照時間はかなり多かった。このため、東日本太平洋側の秋の日照時間は平年比119%と1946年の統計開始以降最も多い値を更新した。11月は、北日本と東日本日本海側では低気圧の影響を受けやすく、曇りや雨または雪の日が多かった。東日本太平洋側と西日本では高気圧と低気圧が交互に通り天気は周期的に変わり、沖縄・奄美では寒気の影響により曇りの日が多かった。月の後半には全国的に一時的に冬型の気圧配置となった日があった。

平均気温は、北日本でかなり高く、東日本で高かった。一方、沖縄・奄美ではかなり低かった。西日本では平年並だった。降水量は、北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側と東日本日本海側および沖縄・奄美で多かった。東日本太平洋側と西日本では平年並だった。日照時間は、東日本でかなり多く、西日本太平洋側で多かった。一方、北日本と沖縄・奄美で少なく、西日本日本海側では平年並だった。

4 全国気候表 2012年(12月20日までのデータによる)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	9.8	(+0.5)	1242.5	(116)	140	1787.4	(104)
稚内	7.2	(+0.1)	1112.5	(108)	168	1369.4	(93)
北見枝幸	6.3	(-0.1)	1106.0	(99)	138	1301.4	(85)
旭川	7.7	(+0.4)	1207.0	(119)	154	1566.6	(100)
留萌	8.4	(+0.3)	1246.5	(115)	147	1505.6	(98)
羽幌	8.4	(+0.4)	1300.0	(105)	163	1532.1	(98)
岩見沢	8.5	(+0.5)	1504.0	(134)	152	1638.9	(97)
倶知安	7.7	(+0.4)	1644.0	(116)	172	1451.1	(100)
小樽	9.2	(+0.3)	1210.0	(102)	168	1519.4	(94)
寿都	9.2	(+0.2)	1311.5	(115)	147	1385.4	(98)
網走	7.2	(+0.3)	1043.0	(136)	131	1702.3	(93)
紋別	6.7	(0.0)	916.0	(116)	122	1539.1	(91)
雄武	6.0	(0.0)	920.5	(109)	124	1429.7	(87)
釧路	7.2	(+0.6)	1185.0	(116)	103	1747.4	(91)
根室	6.8	(+0.2)	1031.0	(103)	117	1616.1	(90)
帯広	7.7	(+0.5)	1164.0	(133)	105	1818.1	(92)
広尾	7.3	(+0.1)	1849.5	(111)	128	1630.1	(92)
室蘭	9.2	(+0.3)	1303.5	(112)	135	1619.3	(95)
苫小牧	8.3	(+0.4)	1326.0	(112)	108	1565.1	(94)
浦河	8.7	(+0.4)	1147.0	(108)	97	1748.5	(97)
函館	9.9	(+0.4)	1201.5	(107)	142	1702.6	(99)
江差	10.7	(+0.3)	1195.0	(103)	145	1480.8	(103)
青森	10.9	(+0.2)	1257.5	(101)	167	1653.1	(104)
深浦	11.0	(-0.1)	1821.5	(128)	151	1549.5	(108)
むつ	10.1	(+0.3)	1116.5	(86)	146	1490.8	(94)
八戸	10.7	(+0.2)	895.0	(89)	99	1814.4	(100)
秋田	12.6	(+0.6)	1704.0	(104)	167	1669.7	(110)
盛岡	11.2	(+0.6)	1010.5	(81)	108	1764.1	(107)
大船渡	11.7	(+0.1)	1485.0	(97)	111	1705.1	(100)
宮古	11.1	(+0.2)	1380.0	(106)	98	1902.6	(104)
仙台	13.0	(+0.3)	1162.0	(94)	102	1863.3	(106)
石巻	12.1	(+0.2)	925.5	(88)	87	1943.9	(103)
山形	12.2	(+0.1)	963.5	(85)	125	1642.3	(103)
新庄	11.4	(+0.3)	2017.0	(113)	193	1400.8	(106)
酒田	13.3	(+0.3)	1927.5	(106)	186	1655.3	(108)
福島	13.5	(+0.2)	1048.0	(91)	106	1711.0	(101)
若松	12.2	(+0.1)	992.5	(84)	129	1737.1	(109)
白河	12.0	(+0.2)	1321.0	(94)	107	1813.5	(104)
小名浜	13.8	(+0.1)	1463.0	(104)	97	2160.3	(109)
水戸	14.3	(+0.3)	1434.0	(107)	105	2154.2	(116)
館野(つくば)	14.4	(+0.3)	1337.5	(105)	103	2144.8	(116)
宇都宮	14.4	(+0.3)	1625.5	(110)	109	2029.1	(110)
日光	7.1	(-0.1)	2574.0	(119)	130	1715.1	(100)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
前橋	15.1	(+0.2)	1058.5	(85)	92	2155.8	(106)
熊谷	15.5	(+0.2)	1063.0	(83)	99	2198.7	(112)
秩父	13.5	(0.0)	1201.5	(91)	91	1979.7	(108)
東京	16.6	(0.0)	1510.0	(100)	105	1975.1	(109)
大島	16.5	(+0.2)	2667.0	(95)	116	1811.8	(103)
三宅島	17.8	(-0.1)	2849.0	(98)	149	1629.2	(97)
八丈島	17.7	(-0.3)	3355.5	(107)	181	1434.0	(105)
父島	22.9	(-0.4)	1328.5	(106)	109	1970.6	(99)
千葉	16.2	(+0.2)	1551.5	(113)	115	1991.9	(108)
銚子	16.0	(+0.3)	1692.5	(103)	117	2143.6	(113)
館山	16.3	(+0.1)	1738.5	(98)	107	2014.9	(107)
勝浦	16.1	(+0.1)	1975.0	(101)	125	1951.2	(105)
横浜	16.2	(+0.1)	1909.5	(114)	106	2077.7	(109)
長野	12.5	(+0.2)	923.0	(101)	102	2007.2	(106)
松本	12.4	(+0.2)	936.5	(91)	84	2153.6	(105)
諏訪	11.5	(+0.1)	1236.5	(97)	104	2163.8	(105)
軽井沢	8.5	(0.0)	1103.5	(89)	105	1937.3	(103)
飯田	13.0	(-0.1)	1514.5	(95)	102	2093.0	(107)
甲府	15.2	(+0.2)	952.5	(84)	85	2294.0	(109)
河口湖	10.9	(0.0)	1423.0	(91)	97	2001.8	(106)
静岡	17.0	(+0.1)	2368.5	(102)	103	2211.4	(109)
浜松	16.5	(-0.1)	1712.0	(95)	91	2250.0	(105)
御前崎	16.7	(0.0)	2192.0	(107)	96	2316.5	(107)
三島	16.3	(+0.1)	1556.5	(84)	111	1973.8	(104)
石廊崎	16.9	(0.0)	1822.0	(103)	98	2188.2	(106)
網代	16.2	(-0.1)	2084.5	(106)	104	1820.4	(104)
名古屋	16.1	(-0.1)	1506.0	(99)	92	2103.9	(103)
伊良湖	16.4	(+0.1)	1533.0	(97)	92	2191.8	(102)
岐阜	16.1	(-0.1)	1810.5	(100)	98	2086.2	(102)
高山	11.4	(0.0)	1750.5	(105)	139	1610.0	(101)
津	16.3	(+0.1)	1643.0	(104)	98	2101.1	(104)
上野	14.7	(+0.2)	1548.0	(114)	105	1737.8	(101)
尾鷲	16.2	(-0.2)	4020.5	(105)	128	1817.2	(96)
四日市	15.1	(0.0)	2104.5	(123)	104	1941.5	(102)
新潟	14.2	(0.0)	1751.0	(100)	158	1723.6	(106)
相川	14.3	(+0.1)	1785.5	(122)	149	1754.4	(109)
高田	13.8	(-0.1)	2813.5	(108)	180	1659.6	(106)
富山	14.6	(+0.2)	2197.0	(99)	174	1736.6	(110)
伏木	14.4	(+0.1)	2113.0	(99)	175	1755.0	(110)
金沢	15.2	(+0.2)	2553.5	(111)	178	1820.6	(110)
輪島	13.9	(+0.1)	1954.0	(97)	159	1702.1	(110)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
福井	15.0	(+0.1)	2366.0	(110)	169	1737.7	(109)
	敦賀	15.7	(+0.1)	2273.0	(112)	171	1664.6
彦根	15.2	(+0.2)	1669.5	(108)	129	1852.7	(103)
京都	16.2	(0.0)	1502.5	(102)	108	1716.8	(99)
	舞鶴	15.0	(+0.1)	2073.5	(116)	166	1543.0
大阪	17.0	(-0.2)	1455.5	(115)	93	2014.2	(103)
神戸	17.0	(-0.1)	1195.0	(99)	93	1972.6	(101)
	豊岡	14.7	(+0.1)	2149.5	(110)	168	1462.6
姫路	15.7	(+0.1)	1457.0	(122)	93	1932.0	(97)
	洲本	15.5	(-0.2)	1570.5	(113)	107	1971.6
奈良	15.1	(-0.1)	1535.5	(118)	105	1720.7	(96)
和歌山	16.8	(-0.2)	1552.5	(119)	103	2003.7	(98)
	潮岬	17.3	(-0.2)	2837.0	(114)	129	2161.2
岡山	16.4	(-0.1)	1058.5	(96)	93	2001.8	(101)
	津山	14.2	(+0.2)	1300.5	(93)	109	1731.1
広島	16.6	(0.0)	1427.0	(94)	82	1924.6	(96)
	呉	16.5	(0.0)	1285.5	(94)	84	1930.7
福山	15.9	(+0.2)	914.5	(82)	90	1929.1	(94)
松江	15.4	(+0.2)	1493.0	(86)	150	1700.3	(102)
	西郷	14.5	(0.0)	1606.0	(92)	144	1752.4
浜田	15.8	(0.0)	1298.0	(79)	131	1669.8	(97)
鳥取	15.2	(0.0)	2177.5	(118)	156	1702.5	(104)
	米子	15.5	(+0.2)	1488.5	(86)	152	1734.5
境	15.7	(+0.3)	1586.0	(86)	151	1675.3	(99)
徳島	16.7	(-0.2)	1598.5	(111)	106	1947.2	(95)
高松	16.7	(+0.1)	983.0	(92)	105	1963.7	(98)
	多度津	16.5	(-0.1)	981.5	(93)	101	1995.2
松山	16.7	(-0.1)	1305.0	(100)	111	1868.3	(95)
	宇和島	16.8	(-0.3)	1858.0	(114)	126	1701.8
高知	17.2	(-0.1)	2923.5	(115)	130	2002.2	(96)
	宿毛	16.9	(-0.3)	2141.5	(109)	124	1853.0
清水	18.2	(-0.3)	2689.5	(110)	129	1998.4	(93)
	室戸岬	16.6	(-0.3)	3054.0	(132)	131	2051.1
山口	15.8	(0.0)	1635.5	(87)	116	1738.7	(94)
	下関	16.9	(-0.1)	1617.5	(97)	106	1766.0
萩	15.9	(0.0)	1365.5	(83)	128	1598.1	(93)
福岡	17.3	(0.0)	1706.0	(107)	113	1776.2	(97)
	飯塚	15.7	(-0.3)	1790.5	(102)	122	1625.8

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	16.6	(-0.1)	2222.5	(136)	122	1824.3	(93)
日田	15.5	(-0.3)	2369.0	(132)	113	1613.1]	()
長崎	17.2	(-0.3)	2073.0	(113)	123	1687.5	(92)
厳原	15.9	(-0.2)	2191.0	(99)	99	1785.9	(99)
平戸	16.2	(-0.2)	2464.5	(118)	112	1650.6	(94)
佐世保	17.2	(-0.1)	2034.5	(105)	119	1770.1	(94)
雲仙岳	12.8	(-0.3)	3108.0	(108)	135	1292.3	(91)
福江	17.1	(0.0)	2345.0	(101)	138	1590.9	(92)
佐賀	16.9	(+0.1)	1980.0	(107)	110	1843.7	(96)
熊本	17.1	(-0.2)	2169.0	(110)	119	1828.7	(94)
阿蘇山	9.8	(-0.4)	3588.0	(113)	138	1358.9	(89)
人吉	15.6	(-0.2)	2805.5	(118)	140	1559.0]	()
牛深	18.0	(-0.3)	2315.5	(119)	122	1715.6	(90)
宮崎	17.5	(-0.2)	3133.5	(125)	133	1951.8	(95)
延岡	16.7	(-0.2)	3100.0	(135)	128	1964.2	(95)
都城	16.6	(-0.2)	3008.0	(123)	141	1730.9	(92)
油津	18.2	(-0.3)	3292.5	(127)	144	1803.2	(95)
鹿児島	18.6	(-0.3)	2839.5	(126)	125	1714.5	(90)
阿久根	17.3	(-0.2)	2318.0	(114)	120	1715.6	(89)
枕崎	17.9	(-0.4)	2613.5	(122)	124	1716.5	(91)
屋久島	19.4	(-0.2)	4939.5	(112)	169	1405.6	(93)
種子島	19.3	(-0.5)	2447.0	(105)	138	1622.3]	()
名瀬	21.6	(-0.2)	4076.5	(147)	173	1221.2	(91)
沖永良部	22.4	(-0.1)	3081.0	(171)	134	1621.1	(88)
那覇	23.2	(0.0)	2716.5	(136)	138	1506.6	(87)
名護	22.7	(-0.1)	2734.5	(138)	145	1474.0	(85)
久米島	23.1	(0.0)	2910.0	(141)	144	1512.4	(87)
宮古島	23.8	(0.0)	1842.0	(93)	129	1577.8	(91)
石垣島	24.5	(+0.1)	2034.5	(99)	143	1600.0	(88)
西表島	23.9	(+0.1)	1907.0	(85)	142	1581.4	(92)
与那国島	24.0	(0.0)	2062.0	(90)	150	1441.5	(93)
南大東島	23.4	(0.0)	2110.0	(137)	122	1784.5	(86)

- (注) 1. これらは12月20日までの観測値を使った集計結果である。
2. 値の横に] がある場合(資料不足値)には、統計期間内のデータに欠測等統計に用いなかった値が含まれているので注意されたい。
3. 平年差(比)は同期間の日別平年値を平均・合計したものに対する差(比)である。

5 平年差（比）が観測史上1位を上回っている地点

(12月20日までのデータによる)

過去の記録と同値は「=」で表す。

年平均気温の平年差が最高値を上回っている地点
なし

年平均気温の平年差が最低値を下回っている地点
なし

年降水量の平年比が最大値を上回っている地点
なし

年降水量の平年比が最小値を下回っている地点
なし

年間日照時間の平年比が最大値を上回っている地点
なし

年間日照時間の平年比が最小値を下回っている地点

地点名	2012年(12月20日まで)			これまでの最小 平年比(西暦年)	開始年
	平年比 %	値 h	平年値* h		
名護	85	1474.0	1727.1	87 (2010)	1966

(注) これらは12月20日までの観測値を使った集計結果であるので、年末までのデータを加えた確定値では変わる可能性がある。
値の横に「=」がある場合(資料不足値)には、統計期間内のデータに欠測等統計に用いなかった値が含まれている。
平年値*は日別平年値を平均・合計したものである。
平年値とは1981～2010年の30年間の値を平均したものである。